

補充資料のご案内

一太郎

Word

学習を深める
ことができる
原文集！

教科書に掲載した教材以外の作品の原文集です。教科書教材と同じ作者、同じ出典、同じテーマなどの文章を収録し、学習を深めたり発展させたりできるようにしました。

本文は、教科書表記に準じて読みやすくしています。

ある曇った冬の日暮れである。私は横須賀発上り二等客車の隅やり発車の笛を待っていた。とうに電灯のついた客車の中には、珍乗客はいなかった。外をのぞくと、薄暗いプラットフォームにも、人影さえ跡を絶って、ただ、檻に入れられた小犬が一匹、時々悲した。これらはその時の私の心もちと、不思議なくらい似つかわしい中には言いようのない疲労と倦怠とが、まるで雪曇りの空のようにしていた。私は外套のポケットへじっと両手をつっこんだまま、そ出して見ようという元氣さえ起こらなかった。

が、やがて発車の笛が鳴った。私はかすかな心のくつろぎを感じ頭をもたせて、目の前の停車場がずると後ずさり始めるのをえていた。ところがそれよりも先にけたましい日和下駄の音が、だしたと思うと、間もなく車掌の何か言い罵る声とともに、私の乗がらりと開いて、十三、四の小娘が一人、慌ただしく中へ入ってきりと揺れて、おもむろに汽車は動きだした。一本ずつ目をくぎつての柱、置き忘れたような運水車、それから車内の誰かこぼしたういうすべては、窓へ吹きつける煤煙の中うやくほつとした心もちになって、巻きあげて、前の席に腰を下ろしていた。それは油気のない髪をひつつめの、銀頬を気持ち悪いほど赤くほてらせた。黄色の毛糸の襟巻きがだらりと垂れ下がった霜焼けの手の中には、小娘の上品な顔立ちを好まなかった。最後にその二等と三等との間にきたばこに火をつけた私は、今度はポケットの夕刊を漫然といた外光が、突然電灯の光に変わって

蜜柑

芥川龍之介

大きさ
B4判

新傾向入試で重要とされる、「読み比べ」もできる！

必要に応じた注

こんなときに使えます！

（教科書教材をさらに深めて…）

「同じテーマの評論と、読み比べをさせたい。」

（夏休みの補習に…）

「短い文章のものを、投げ込み教材で使いたい。」

（家庭学習用の課題として…）

「教科書と同じ作者のほかの小説を読ませたい。」



- 《学習の手引き》
- 1 本文を通読して、「私」と「小娘」の特徴を整理しよう。
 - 2 次の部分から、「私」のどのような気持ちを読み取れるか。
 - 1 その時の私の心もちと、不思議なくらい似つかわしい景色だった
 - 2 私はようやくほつとした心もちになって
 - 3 今度はポケットの夕刊を漫然と膝の上へひろげてみた
 - 4 険しい感情を蓄えながら
 - 5 私は思わず息を飲んだ
- 3 「ある得体の知れない朗らかな心もちが湧き上がってくる」とは、どのようなことを表しているか。
- 4 この作品のタイトルが「蜜柑」であるのはなぜか、話し合おう。

「現代の国語」「言語文化」 補充資料 収録データ

※2021年4月時点の予定です。

《現代文》 ※3000字以下の短い教材もご用意しています。(ページ数の太字のもの。)

教材		テーマ等	字数	現代の 国語	言語 文化	関連教材等	
小説	蜜柑	芥川龍之介	3400		●	「羅生門」同一筆者	
	城の崎にて	志賀直哉	5300		●		
	津軽	太宰 治	8900		●	「富嶽百景」同一筆者	
	高瀬舟	森 鷗外	8900		●		
	夢十夜	夏目漱石	3600		●		
	山月記	中島 敦	6100		●		
	なめとこ山の熊	宮澤賢治	12000	●	●	「自立と市場」関連	
	夏の花	原 民喜	13200		●		
	沖縄の手記から	田宮虎彦	12200	●	●		
	海の方の子	山田詠美	8900		●		
	神様	川上弘美	3500		●		
	水かまぎり	川上弘美	3100		●		
	果物屋のたつ子さん	いしいしんじ	2900		●		
	ドライ・クリーニング	吉田修一	3500		●		
その他	「方丈記」		1400		●	「羅生門」参考資料	
	人虎伝		4700		●	「山月記」参考資料	
	ある人、弓射ることを習ふに		340	●		「白」関連	
詩	サーカス	中原中也	—		●		
評論	無常のリズム	山崎正和	文化	1300	●	「水の東西」同一筆者	
	マルジャーナの知恵	岩井克人	社会	2200	●	「広告の形而上学」同一筆者	
	聴くということ	鷲田清一	哲学	2400	●	「真の自立とは」同一筆者	
	ガリヴァーとアリス	外山滋比古	読者	1800	●	「解釈」同一筆者	
	文化としての色	港 千尋	文化	2300	●	「無彩の色」同一筆者	
	疑似科学入門	池内 了	科学	3000	●	「技術が道徳を代行する時」同一筆者	
	雑踏の音楽	小池昌代	認識	1600		●	「あいだ」同一筆者
	もじれる社会	本田由紀	社会	3200	●	「自立と市場」関連	
	分かり合えないことから	平田オリザ	コミュニケーション	2900	●	「『身銭』を切るコミュニケーション」関連	
	美意識は資源である	原 研哉	文化	2200	●	「白」同一筆者	
	「価値あるもの」が立ち上がる時	内田 樹	コミュニケーション	3300	●	「届く言葉」「『身銭』を切るコミュニケーション」同一筆者	
	トカゲの卵	福岡伸一	科学	1100	●	「ルリボシカミキリの青」「生物の多様性とは何か」同一筆者	
	生物多様性とは何か	鷲谷いづみ	環境	1900	●	「スキマが育む都市の緑と生命のつながり」関連	
	我が料理に悔いなし	秋山徳蔵	労働	1400	●	単元「社会と関わる」関連	
	働くことは生きること	小関智弘	労働	3400	●	単元「社会と関わる」関連	
	自然治癒力を高めるケア	川嶋みどり	労働	2900	●	単元「社会と関わる」関連	

※「現代の国語」は「現代の国語」「精選現代の国語」「新編現代の国語」のいずれか、または全て、
「言語文化」は「精選言語文化」「新編言語文化」のいずれか、または全てに収録予定です。

《古文》

★…教科書掲載箇所前後部分の収録

作品		教材	精選 言語文化	新編 言語文化
説話	今昔物語集	検非違使忠明	●	●
	発心集	数寄の楽人	●	
		永秀法師、数寄のこと	●	
	宇治拾遺物語	小野篁、広才のこと	●	
		空を飛ぶ倉	●	
		夢買ふ人	●	
	今物語	桜木の精	●	●
	十訓抄	大江山の歌		●
		博雅の三位と鬼の笛	●	
	古今著聞集	季武が従者、主の矢先をはづすこと	●	●
随筆	枕草子	春は、あけぼの		●
		木の花は	●	
		中納言参り給ひて	●	
		うつくしきもの	●	
		雪のいと高う降りたるを	●	
	方丈記	ゆく河の流れ		●
	徒然草	同じ心ならん人と	●	
		雪のおもしろう降りたりし朝	●	
		九月二十日のころ		●
		五月五日、賀茂の競べ馬を見侍りにしに	●	●
		亀山殿の御池に	●	
		仁和寺にある法師	●	●
		これも仁和寺の法師	●	●
		筑紫に、なにがしの押領使	●	●
		奥山に、猫またといふものありて	●	
		ある人、弓射ることを習ふに		●
		高名の木登り	●	

作品	教材	精選 言語文化	新編 言語文化	
随筆	花は盛りに	●	●	
	城陸奥守泰盛は	●		
	一事を必ず成さんと思はば	●		
	丹波に出雲といふ所あり		●	
物語	竹取物語	なよたけのかぐや姫	★	●
		蓬萊の玉の枝	●	
		火鼠の皮衣	●	
	大和物語	沖つ白波	●	●
	伊勢物語	東下り		●
	源氏物語	光源氏の誕生	●	
若紫		●		
万葉集		★	●	
詩歌	和歌	古今和歌集	★	●
		新古今和歌集	★	●
		梁塵秘抄	●	
	歌謡	閑吟集	●	
俳諧	近世俳句	●		
軍記物語	平家物語	祇園精舎		●
		橋合戦	●	
		木曾の最期		★
日記	土佐日記	馬のはなむけ		●
		阿倍仲麻呂	●	
		黒鳥のもとに	●	
		帰京		●
	更級日記	門出	●	●
紀行	奥の細道	竹芝寺	●	●
		旅立ち		★
近世	随筆	立石寺		●
		盗人入りしあと	●	
小説	東海道中膝栗毛	●		

《漢文》

教材		精選 言語文化	新編 言語文化
小話	助長		●
	矛盾		●
	五十歩百歩	●	
	推敲		●
	苛政猛於虎	●	
	守株	●	
	漁父之利	●	
	文	杜子春伝	●
史話	管鮑之交		●
	鶏口牛後	●	●
	曹公戦於白馬	●	

教材	精選 言語文化	新編 言語文化	
史話	曹公以関羽為義	●	
	臥新嘗胆		●
	魏武捉刀	●	
	華王之優劣	●	●
思想	王昭君	●	●
	不忍人之心		●
唐詩	何必曰利	●	
	送元二使安西		●
	芙蓉楼送辛漸	●	
	春夜喜雨	●	●
	八月十五日夜、禁中独直、…	●	
	送秘書晁監還日本	●	
竹里館	●		